

# 費用を抑えたEMIトラブルシューティング・キットの組み立て：パート1（放射エミッション）

Kenneth Wyatt  
Wyatt Technical Services LLC

利益を得ることができる。私自身、自作のキットに数年間、頼っているが、これは役立つと同時に、場合によっては自社の製品開発エンジニアやマネージャー、顧客に対応する際にプロ意識を見せることができることもわかった。私の自作キットは、仕切りパッド付きの Pelican 1514 運搬用ハードケース (<http://www.pelican.com>) 入りなので、必要な場所に運ぶのが簡単である。また、オプションのリッドオーガナイザー（モデル 1519）も、

**社**内の、あるいは独立系の EMC コンサルタントである我々は、EMI トラブルシューティング・キットを自分で組み立てることで大きな



図1. トラブルシューティング・キットの主な工具や部品。スペクトラムアナライザは、測定周波数範囲 10 MHz ~ 6 GHz の Thurlby Thandar 社製モデル PSA6005 である。全ての工具や部品は、Pelican 社製の運搬用ハードケース 1514（キャスター付）内にぴったり収まる。中身については本稿のパート1とパート2で記述する。